新製品紹介

旭式楔形引留クランプ(MAT形)

Asahi Model Wedge-Type Clamp, “MAT”

旭 電 機㈱

1. はじめに

旭式楔形引留クランプは，1962年（昭和37年）にドイツKarl Phisterer社と技術提携を行い，国内送電線に対応したクランプに改良し，国内導入しました。

1991年（平成3年）には超耐熱電線（XTACIR）への適用，1997年（平成9年）には低風音型電線（ヒレ付電線）への適用と，これまで各種電線への適用拡大がなされています。電線サイズ的には，（T）ACSR120 mm^2 ～ 1,160 mm^{2}まで対応しています。

2. 構造

図1に旭式楔形引留クランプを示します。また，**図2**に旭式楔形引留クランプ施工状況を示します。

旭式楔形引留クランプは，アルミニウム合金製の本体，楔，楔押え，ジャンパ金具及び軟鋼製の連結板2枚で構成されています。

電線は，楔を本体内部の楔押さえに押し込んで引き留める構造になっています。

3. 性能

電線掌握力は適用電線引張荷重値の90％以上で，十分な電線掌握力を有しています。

この旭式楔形引留クランプは電線を切断せず，電線がクランプ内を通過しています。そのため，圧縮形引留クランプのように電線を切断した機械的接続をしていないので，発熱や凍結などの問題は一切起こりません。また，圧縮作業がないため，短時間の施工を可能にしました。

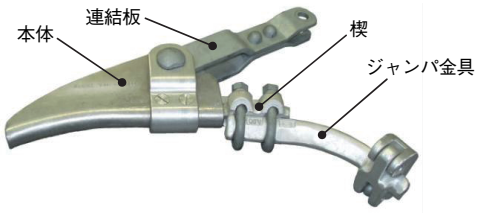

図1　旭式楔形引留クランプ
Asahi model wedge-type clamp.

この旭式楔形引留クランプは，楔押込みの際に適切な押込み状態が確認できるように，規定の押込み中心位置と許容範囲を示す押込指示線を楔に設けています。

4. おわりに

旭式楔形引留クランプは，国内電力会社殿に採用されており，また海外での採用実績もあります。 現在は，架線（緊線）工事時にカムアロングを使用しないで，楔形クランプを専用金具で取り込む「カムアロングレス工法」が多く採用され，作業の省力化にも貢献しています。

＜製品問合せ先＞
旭電機㈱
営業部
TEL：045-910-2810　　FAX：045-910-2811

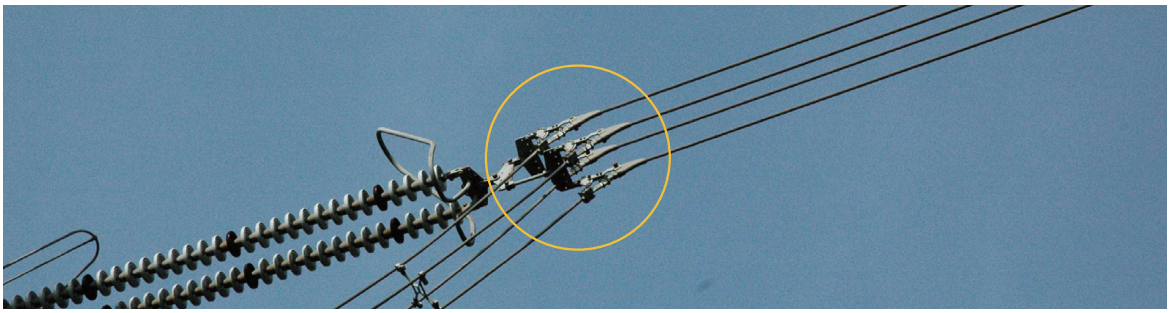

図2　旭式楔形引留クランプ施工状況
Installation of Asahi model wedge-type clamp.